名の 疑は ね

あるは n

疾くに御承知の筈と考へ候

し事

ક

ありし又松村博

士の

此品

の

以は何年頃

ź, Ú

記憶

なけれ

ども 記

植物學會長

なれ

ば

予

%

、寄送の

稿

大發表

十二年四

月

藤野寄:

命

ガ

其

v

デア

w

を附せ

は其當時精養軒

前通り

邊

VC

植の該

は近年

移植

のも

0

な x

Ī

多 ĭ

く

は染井邊より

來

ると

申

屯

Ū 栽

こと故

假 樹

K

名

づ

し

なり其頃

B n

畄 ば

中 孰 其

先 n 文

大島 園 チ

產 掛

なら

ħ

Z)

とも に尋 0

丁

八島菜

氏

元生などは或は小れより來りしか日

ァ

/下ノ如

ク

言

ハレ

タ是

シュ

由

ーテ觀

レバ

其當時ノ

歷

史

ガ

ク分

iv

<u>_</u>

ヲ

揭

グ

n

即

『此染井吉

野

名

•

井吉野ヲ大島櫻ト間違 3/ 經

K 查染井吉野 屬 野の VC す を謂 で學名 一品が存在するを認 ふべ 覓 જુ ų の 動機 h 别 ń は故 種 崩 なること分明 日 田 をも 中芳男先生の指導に基くを以 真吉野 知 n 山自櫻花 **V**2 IC になり 十三の 梅咲吉野の品種 が 老齢なる 其 原 始 を以 7 は にと區別 予 眞に て 7: 彼 之を見 す 前 るが爲 此 類 事 初 لح を世 めめ 山 附 し 人 は 與 類 故 K せし 告ぐっ 田田 0 中芳男先生の慧眼卓 名なれども、 IC 不 明 年三月) 此櫻花 な る

園 藝 ラ友」 誌上 一デ藤 野 予 翁 プ公公 = 也 ラ v シ 七 æ ラハ上 1 能通 ツ デア N ガ 次は 生 朩 同 氏 今囘 書面 ョリ之レ (大正九 _ 附記 シ

〇染井吉野ヲ大島櫻ト間違ヘシ經緯

野 太 息

7 ガ N 社 能 其 會 ク 分 化ガン デ 故 Æ IJ 之 即 其 時 v チ 大 分 ガ 島 同 講 櫻 ジ 演 者 ハ Щ‡ 筆 デ 記 \mathcal{F} ナ

櫻 · ヲ 見 ŀ 同 ジ 東京麻布 Æ 1 デ 伊 ・
ウ書 豆 ノ學農社主 大島 = , 在 故 w Æ 津 , 田 ダ 逢 仙 ŀ 君 言 其責ヲ歸 扂 w 人 也 ガ ネ ア 今 ۱۷ ッ ナラヌ タ デ 7 ヲ見受 事質ガアル 其當 ケ 時 ヌ 舊 コ 說 ŀ ソ ガ 7 v J ゥ 此 染 デ 誤 并 ア n 吉 ヲ 明 野 ナ 大島 タ 事

۴°

n

ŀ

往 メ

K

テ

7 3 别

N ŀ

3 ガ

ŀ

=

出

ラ

デ

ア ハ 明

ラ 公

ゥ

ŀ

思

フ ソ テ 何

日

Æ

=

サ

テ

オ

ノ様

認

ラ

レ ッ

テ居

ッ 1

タ 特

ァ

テ私

ナ ŀ

ŀ*

R = ノ

然

ŀ

ゥ

吹

聽 ガ 係

3/

Ø

モ

デ

ッ 7 今日デ

ハ

大島櫻ト

井ゐ

計

野の

ŀ

ハ

7

别

一品種

デ

兩

間

1

關

Æ

ナ

1

=

ŀ 等

變種

染

并

古

野

種

j

櫻 全

デ

w 1

3

ガ

力 者

ナ

扂

N

時

ハ , 我

1

ッ =

其翌 残ッテ 方ナキ ガ塗ニ ク私 ガ ジ 知友都築省 者デア 講演 同 ガ ・來タ大島櫻ガ デ古來ョ 毛 島 日ワザワザ其花枝ヲ使ニ持タセテ私 後 其 時 染井吉野デアッ ヲ Ţ ガ 為 探險 jν 昨々年同島へ大島櫻ヲ見ニ參リシ ナ ッ v 'n オ 謂ユ 津田 ト取極メ其通 ヌ Ŋ リ婦人ノ 邂逅 = 君ガ之レヲ見、 ノデ裸デアル ŀ アッ 君 思 ヨッテ分ッタ ŀ 櫻株い ラ ガ 誤で 或 テ今花ガ咲イテ居ル アッター ナカッタ、 頭髮が特ニ長ク延ビ且ツ黒ク艶ガアル タ (今其標本ガ私ノ Herbarium 中ニ在ルト思フ)ソコデ匆々大島櫻 jν ラ ジリ時 车 櫻ガ ŀ ガ之レニ レテト , 席辯ジ了ッ 四 々世ニ 同 早速ニ、 遠 月 時 ソ + ン = = コデ駄詠ヲ一ツ、 グ罪作 發表シ 早 引カへ染井吉野ハ葉柄ニモ花梗ニ 昔カラ同島 タい大島櫻ノミガ此 さもあらん土器櫻毛をたえて島の乙女の黒髪となる 稻 タ後チ會ニ姿ラレテ居ッ 田 カラ明日其 トリヲ仕 時 宅二贈ッテ下サッタ其レヲ見 タモノデアル其後大島櫻ノ正體 大隈 ノーツ、 土器の花の名稱なふ島ざくら稗蒔ざくら見つかりもせず、萬一染井吉野ガ見付カリハシナイカト其地此地島内ヲ歩イテ見々 デ發達シ タモ 侯 ノ邸 レヲ進呈ショウ此櫻 ノダ今日デハ染井 テ居ッタ 島 內 ノハ日常此椿油ヲ附 デ ニ繁殖シ 日 本 タ津田 園 唯一ノ證據 居ルコト モ細毛ガ生 仙 w 1 野 ガカ分 . 並 君 花 デア ハ伊豆 ノ櫻 ガ言 ガ 朗 n こ 疎 ガ ケ 'n 二從ッテ私 ハル エテ居 ョリ實ガ大 此 ナッ 其地 ラニ着 ッ セイダ `\ = 大島櫻 大島 テ 此 n Ø 其 今 力 イオテ 席 ŀ = ハ即チ染井吉野 (同島ハ椿油ノ名産 私 ラ直 言 Ħ * モ 上 從來無 葉 早速昨 ′ハ居 同 1 ノ デ 庭内 ニモ Æ 私 島 グ レテ居ル) = ッ ガ 花梗 デア 櫻 區 ヌ = 大島 · テ見 ラ ガ紛 別 改 ŀ ガ = 村 ۶ 同 フ ŀ テ

〇復タモ『斷枝片葉』ニ誘ハレテ

一吟ヲ下ダ

フッ

東京植物同好會々員 中尾清太郎

牧野先生ハ「或ハ本來ガげんげはなデれんけばなハ學者ガ賢ク後デ解 ヲ 附

復タモ『斷枝片葉』ニ誘ハレ

げんげノ音ハ翹々ノ國語化カ